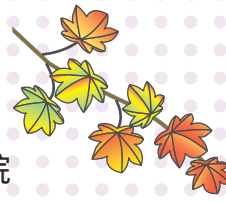


住友

救急指定病院
地域がん診療拠点病院
病院機能評価機構認定病院
医師臨床研修指定病院



2005年
11月号

No.94

奇数月1日発行

別子 病院 ニュース

虚血性心疾患について



循環器科 科長
と い ま さ ゆ き
土 井 正 行

はじめに

我が国ではライフスタイルが欧米化するに伴って心臓病が増え、癌に次いで死亡原因の第二位となっています。(図1) その心臓病の大部分を占めるのが虚血性心疾患、

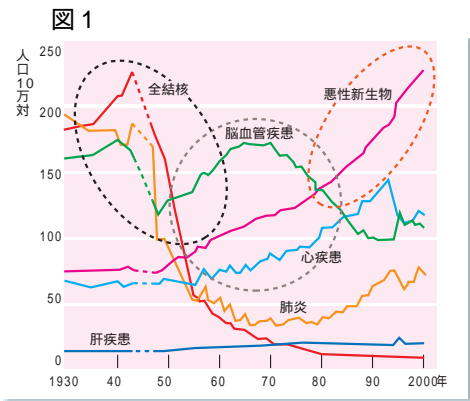


図1

つまり心筋梗塞や狭心症です。虚血性心疾患の原因となるのが、心臓の栄養血管である冠動脈の動脈硬化です。欧米化した食事内容や運動不足に起因する糖尿病・高脂血症(高コレステロール血症)や高血圧症・喫煙・ストレスなどの危険因子が増え続けています。(図2) たいへん残念ですが心臓病の患者さんは増え続けています。

心臓病(虚血性心疾患)は怖い恐ろしい病気だというイメージがありますが、決してそうではありません。正しく理解し、適切な処置や治療をうけ、さらに予防策を

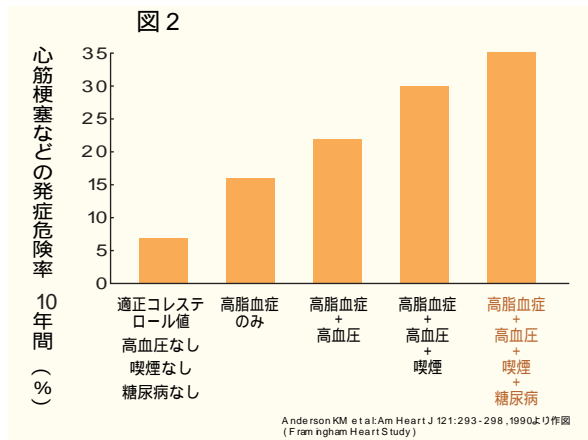
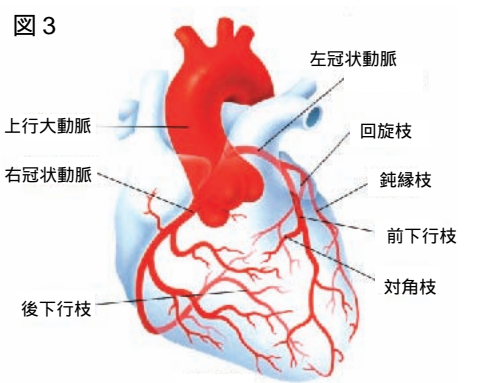


図2

また現在、健康な方々も今後にわたり心臓病と無縁でいられるように活用していただければ幸いです。

虚血性心疾患(狭心症と心筋梗塞)とは



狭心症とは、心臓の筋肉(心筋)を養う冠動脈(図3)が動脈硬化により弾力性をなくし内腔が狭くなった状態です。階段を上がったり、入浴したり、興奮したりして心臓に負担がかかった時に、心筋に十分な血液が流れなくなり、患者さんの多くは胸が締め

講じてゆけば十分に効果が期待できます。今回は、狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患について、その症状や診断法検査法・治療法について説明させていただきます。心臓病に対する過度の不安を取り除かれ、

表 1

狭心症や心筋梗塞の症状
 持続する胸部中央の不快感
 肩や頸部、前腕、下顎に放散する疼痛
 背部や両側肩甲骨のあいだの疼痛
 頭のふらつき、失神、発汗、嘔気嘔吐
 呼吸困難を伴う胸部不快感
 全体的な苦痛

高齢の方や女性、糖尿病や高血圧症の患者さんは、症状を感じにくい場合があります。

狭心症の場合、冠動脈は狭くなっていますが、閉塞しているわけではなく、少しは栄養と酸素が供給されていますから、心筋が壊死に陥ることはありません。これが狭心症と心筋梗塞との最大の違いです。心筋梗塞とは冠動脈が閉塞することにより、心筋が壊死することです。壊死に陥った心筋は、収縮する力がありませんから心臓の働きが悪くなり、一度壊死に陥った心筋が収縮力を取り戻すことはできません。狭心症の発作は、普通長くとも十五分以内に終わりますが、三十分以上発作が続く時には心筋梗塞を疑う必要があります。心筋梗塞は最も痛みの激しい病気の代表で、痛みの強さから不安や死の恐怖感を伴うこともあります。狭心症の発作を初めて起こした時や頻繁に起きる時には、心筋梗塞を起こしかけている可能性があるので、急いで循環器専門医を受診することを勧めます。

虚血性心疾患のための検査

心電図検査：心臓の検査のなかで最も代表的なものです。簡便な検査ではありますが、情報量も多く、この検査だけで急性心筋梗塞の診断も可能です。

運動負荷心電図検査：運動をすることで心臓に負担をか

付けられるような痛みを感じます。これが狭心症の発作です。症状は一定ではなく、表1に示すようにさまざまです。こ

高齢の方や女性、糖尿病や高血圧症の患者さんは、症状を感じにくい場合があります。

け、心電図変化を調べる検査です。狭心症の診断に非常に有用で、運動前後で心電図に変化があった場合は、狭心症が疑われます。

心エコー図検査（心臓超音波検査）：胸壁に小さな端子をあてることで、心臓の構造や動きだけでなく、心臓内の血液の流れまで見ることが出来ます。身体に対する苦痛や負担はなく、心臓病診断に不可欠な検査です。あらゆる心臓の病気の診断に有効だけでなく、治療効果の判定にも有効です。

心臓核医学検査（心筋シンチ）：放射性同位元素を用いる検査です。薬剤や運動で心臓に負荷をかけることにより、血流の正常な部分と血管の狭窄により血流が不十分な部分、心筋梗塞で心筋が壊死に到っている部分を区別して判定することができます。冠動脈の狭窄の有無や重症度を推測することができます。冠動脈血行再建術（カテーテル治療や外科的バイパス手術）の必要性を決定する助けにもなり、治療後の効果判定にも役に立ちます。



図 4 冠動脈CT（図4）：X線を用いて断層写真を撮影するのがCTです。造影剤という薬剤を点滴することで冠動脈を撮影可能にします。近年、機器の向上で冠動脈

の狭窄や閉塞部を診断することが一部可能になりました。カテーテルによる冠動脈造影には劣りますが、入院の必要がなく、バイパス手術後の血流の診断などに大変有用です。

心臓カテーテル検査（冠動脈造影）

図5）：虚血性心疾患の検査のな

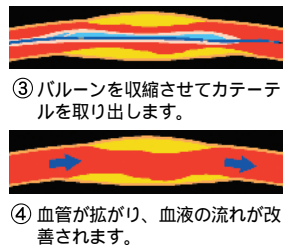


図 5

かで最も診断をはっきりさせる力のある検査であり、最終的に必要不可欠な検査です。典型的な症状や他検査で虚血性心疾患が疑われる方には必要な検査です。足の付け根部分や、肘または手首の動脈から血管内を通して非常に細いチューブを心臓まで挿入します。冠動脈造影では、挿入したカテーテルの先端を冠動脈まで進め、造影剤を流し、X線で撮影します。いくつかの方向から冠動脈を撮影し、狭窄部位や閉塞部位を明らかにします。

治療

薬物療法：血管拡張剤（血管を拡張血液の流れをよくする）、降圧剤や心筋保護作用のある薬（血圧を下げたり、脈拍を遅くすることで心臓の負担を軽くする）、抗血小板剤（血液をサラサラにして流れをよくする）、強心剤（心臓を刺激する）などがあります。



③ バルーンを収縮させてカテーテルを取り出します。
 ④ 血管が広がり、血液の流れが改善されます。

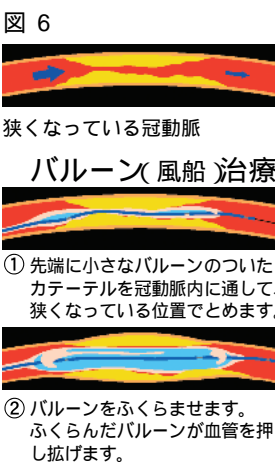


図 6 狭くなっている冠動脈
バルーン（風船）治療
 ① 先端に小さなバルーンをついたカテーテルを冠動脈内に通して、狭くなっている位置でとめます。
 ② バルーンをふくらませます。ふくらんだバルーンが血管を押し広げます。

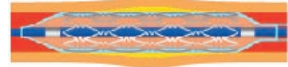
心臓カテーテル治療（経皮的冠動脈形成術）：冠動脈の狭窄もしくは閉塞部を小さい風船で内側より拡張する方法です。（図6）最近、風船による拡張に加えて、ステントという金網でできた筒状のチューブを血管のなかに入れる方法が主流です。（図7）

冠動脈バイパス手術：外科的に胸部を切開し、血管の狭いところや閉塞した病変部の先に別の血管を繋いでまわり道（バイパス）をつくる方法です。狭窄部の状況などによりカテーテル治療ができない場合に行います。

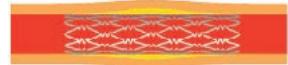
図 7



バルーンであらかじめ冠動脈を拡げた後、ステントを搭載したバルーンカテーテルを挿入します。



バルーンをふくらませるとステントが拡がって冠動脈の内壁を押し拡げます。



バルーンをしぼませて抜き取ると、ステントのみが残り、血管を拡げたまま維持する足場のような働きをして血液の流れを改善します。

最後に

心筋梗塞は、発症すると命を落とすことのある病気です。ただ、発症後早期に病院に駆け付けて心臓カテーテル治療を行えば、後遺症を残すことなく済むこともあります。おかしいと思ったら、速やかに救急車で設備のある病院を受診することが必要です。とは言うものの、はっきりとした前兆がないことも多いので、動脈硬化の危険因子をお持ちの方は、定期的な心電図や心臓超音波・負荷心電図検査をすることにより、狭心症の段階で病気の発見に努めることをお勧めします。

動脈硬化は、ある程度は老化に伴う生理的な変化で完全に防ぐことはできませんが、動脈硬化をなるべく遅らせるような生活習慣と食習慣を身につけ、危険因子の管理治療をすることで、将来の病気を予防することが一番大切です。



おしごと拝見！職場のわ

～連載部門紹介～

今回より始めました「おしごと拝見！職場のわ」です。このコーナーは、病院のなかにたくさんある職場・職種・委員会などを“友達の輪”によって紹介していくシリーズです。

第1回目は、皆様に病院の情報を発信しています“病院ニュース編集委員会”を紹介させていただきます。申し遅れましたが、わたくし編集委員長の古川龍二（事務員：医療連携室勤務）と申します。よろしくお祈りします。

まずは、病院ニュースの歴史をちょっと紹介します。創刊は平成元年8月です。「病院の状況と最新医療情報を提供できる情報誌を…」と、当時の院長柴田凡夫先生の発案で発刊したもので、創刊号はレトロな白黒B5サイズでした。

それから17年目。今月号でNo.94となり、地域では歴史ある病院情報誌となっています。

その歴史と伝統を受け継ぎ、新しい感覚でニュース編集を行っているのが私たち病院ニュース編集委員です。委員は少数精鋭の8名。多くの情報を収集するため、看護師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士・放射線技師・事務員の違った職種から今年4月に選任されました。

また、委員会内に企画や期日を調整する事務局と原稿収集や写真撮影などを行う取材グループ、および原稿や紙面を確認する校正グループを設置して活動しております。

ホットな情報を“正確に早く期日（奇数月1日発行）までに”をモットーに、日々楽しく紙面作成に取り組んでおりますが、締切日はあつという間にきてしまい、いつも冷や汗をかいております。

最後に、皆様から病院ニュースに関するご意見、ご要望をお聞かせいただき、より良い紙面にしたいと思いますので、お気付きの事項がございましたら委員会まで、ご連絡お待ちしております。

今回は、医事課受付の華 吉本さん職場紹介よろしくお祈りしま～す！

連絡先：〒792-0825 新居浜市王子町3-1

住友別子病院ニュース担当者

TEL (0897) 37-7111



こんにちは
リハビリセンターです。



当センターには医師三名、回復期病棟専従医師一名、理学療法士（PT）十名、作業療法士（OT）六名、言語聴覚士（ST）三名、物理療法スタッフ二名、受付一名が所属しております。医師の指示のもと、病気やケガによって身体が不自由となった方に対し、三つの専門分野が連携して身体と心の両面から機能回復を図ります。

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士について簡単に説明しますと、「理学療法士」は寝返りや起き上がり、または座る・立つ・歩くなどの基本的動作の回復や機能の改善を目標として訓練を行います。「作業療法士」は日常生活や社会参加に必要な、心や身体の能力の改善を目的として手指の細かい動きや家事動作等、日常生活を送る上で必要な動作を取り入れながら訓練を行います。「言語聴覚士」とは、言葉・聴こえ・声などコミュニケーションに何らかの障害がある人、摂食・嚥下（食



べる・飲み込む）機能に障害のある人に対し、機能の回復やコミュニケーションの改善を目指し、訓練を行います。

当センターのスタッフは各々キャラクターや個性も異なりますが、患者様とのコミュニケーションも大切に、お互いに打ち解け、明るく楽しい雰囲気の中で訓練できるように心がけており、訓練室からは明るい掛け声や楽しい話し声も聞こえ、活気にあふれています。

今年度、新人が三名加わり、明るさがいっそう増したりリハビリセンターですが、スタッフ一同、皆様の要望に少しでもこたえられるよう、より良いサービスを提供できるように今後も努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

夜間糖尿病教室 参加者募集のお知らせ

住友別子病院糖尿病センターでは、1月より下記のとおり夜間糖尿病教室を開催いたします。健康診断で血糖が高いといわれた方、糖尿病といわれたけれど本格的な治療をされていない方、糖尿病ではないけれど糖尿病のことを知りたい方、1月から4月の第3木曜日の夜に糖尿病の勉強をしませんか？糖尿病センタースタッフが、糖尿病の基礎から食事療法（実際に食べながら）まで優しく指導します。この機会に是非ご参加ください。

① スケジュール

	1月19日	2月16日	3月16日	4月20日
午後6時30分～午後7時	糖尿病とは？ （医師）	糖尿病の検査 （検査技師）	合併症 腎臓 （医師）	運動について （医師）
午後7時～午後7時30分	食事療法 （栄養士）	食事療法 （栄養士）	食事療法 （栄養士）	食事療法 （栄養士）
午後7時30分～午後8時	生活指導 （看護師）	合併症 眼 （医師）	合併症 神経 （医師）	糖尿病教育 （看護師）

- ② 募集人員 先着 10名
- ③ 会 費 2,000円
(食事代4回分 500円×4回)
- ④ お問い合わせ先 住友別子病院 医事課
(0897)37-7116

住友別子病院カレンダー

2005年 11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2006年 1月 ○印は病院特別休診日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月9日は休日ですが、通常どおり診療いたします。